

添削課題8

構造種別:鉄骨造 | 管理テーマ:合理化 - ①

設問:

あなたが担当した鉄骨造の建築工事において、工程の短縮や作業効率の向上を目的に取り入れた合理化の工夫や効果について記述しなさい。

解答例:

建物形状が単純なBOX構造だったので
構造設計担当者とは協議し、鉄骨梁の
長さを柱からのブラケット部で調整し、H型钢
の梁長さを統一して在庫管理を簡略化した。
施工の際は、大梁をジョイントする際にスライズプレート
が干渉して邪魔になるので、丁番をつけて
スライズプレートがドアのように開閉できるように
した。

総評

発想はとても良いです。

- ・梁長さの統一
- ・在庫管理の簡略化
- ・スプライスプレートの改善

いずれも 実務経験がないと書けない内容で、着眼点は高評価です。

ただし、

- 工事概要がない
- 合理化の目的が弱い
- 効果が具体的でない

この3点が不足しており、現状では「60～65点レベル」です。
構成を整えれば80点以上を狙えます。

添削ポイント①:工事概要がない

いきなり

「建物形状が単純なBOX構造だったので…」
から始まっていますが、

- ・延床面積
- ・階数
- ・用途

が書かれていないため、現場規模が想像できません。

▶ 記述試験では 最初の1文が非常に重要 です。

添削ポイント②: 合理化の「目的」が弱い

今回のテーマは

工程短縮・作業効率向上

ですが、文章では

- 在庫管理を簡略化した
- 邪魔になるので改善した

と書かれているものの、

それが工程短縮や効率向上にどうつながったのかが明確ではありません。

合理化は必ず

「課題 → 工夫 → 効果」

で書く必要があります。

添削ポイント③: 効果が抽象的

「簡略化した」「邪魔になったので改善した」

で終わっており、

- 何がどれだけ改善したのか
- 手間がどのくらい減ったのか
- 作業時間がどう変わったのか

が書かれていません。

合理化テーマでは

数字 or 具体的成果が必須 です。

添削ポイント④:文章量が不足

現状は約 5～6 行程度で終わっています。

記述試験では
最低でも 8～10 行程度の情報量 が必要です。

内容が良いだけに、もったいないです。